

子ども向け

福祉の耳より
だより

ふくみみ

ナンバー
No.7

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会
〒270-1325 印西市竹袋614-9
印西市総合福祉センター内

☎0476-42-0294

FAX 0476-42-0338

E-mail info@inzaishakyo.jp

URL http://www.inzaishakyo.jp



補助犬について知ろう！

盲導犬

介助犬

聴導犬

みなさん、目や耳や手足が不自由な人のお手伝いをする犬を知っていますか？？

今回のふくみみは体の不自由な人のために働く補助犬たちを紹介します！

補助犬は、身体に障がいのある人のからだの一部となつて、障がいのある人の生活をサポートするために、時間をかけてきちんとトレーニングされ、指定された団体で認定を受けた犬で、社会のマナーも守ります。そこで、補助犬のそれぞれのお仕事の内容を紹介します。

●盲導犬

目の不自由な人の困っていることを手助けします。外出した時の障害物（角や段差）を避けてユーザー（補助犬を必要としている人）さんを目的地まで安全に誘導します。

●介助犬

手足が不自由な人の困っていることを手助けします。例えば、落としてしまったものを拾ったり、ドアを開けたり、スイッチを押したりします。着替えも手伝います。携帯電話を探したり、人を呼びに行ったりもします。

●聴導犬

耳の不自由な人の困っていることを手助けします。音が鳴っていることを知らせて、生活のお手伝いをします。



公益財団法人日本補助犬協会ホームページより引用

～補助犬に向いているのは働くことが大好きな犬！～

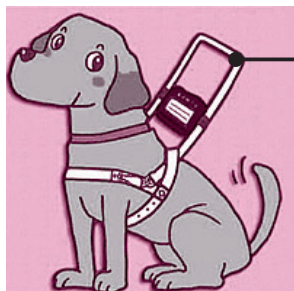
どんな犬でも簡単に補助犬になれるわけではありません。日本では主に、盲導犬、介助犬として作業が好きで、人なつっこい性格のラブラドルレトリバー、ゴールデンレトリバー、2種のミックス犬が活躍しています。

聴導犬は盲導犬や介助犬とは異なり、犬種は様々で、捨てられてしまつたり、逃げてしまつた理由から飼い主がいな保護された犬を聴導犬に育てるケースもあります。訓練士によってお手伝いのやり方などを教わり、ユーザーさんに合わせたお手伝いの内容を覚えていきます。ユーザーさんのところに行くまで、さまざまな訓練をしているのです。

おうちのひとと、いっしょによんでみましょう！ ウラ面につづくよ！！

●町で補助犬に出会ったら・・・

●基本は温かく見守る事です。



日本盲導犬協会ホームページより引用

ハーネス
休んでいるように見えても、介助犬、聴導犬はケープをつけているとき、盲導犬はハーネスをつけているときはお仕事です。勝手に触ったり、口笛を吹いたり、自分のペットを近づけたりして、犬の気を散らさないようにしてください。



わんちゃんホンポホームページより引用

●盲導犬のハーネスやユーザーさんのからだにいきなり触ると恐怖を与えるのでやめましょう。食べ物や飲み物を与えないでくださいね。

●身体障害者補助犬法を知っていますか？

補助犬は目や耳や手足が不自由な方の生活を支援しますが、飲食店などで補助犬と一緒にの来店を断られることがありました。そこで公共機関や公共施設のほか、スーパーマーケットやレストラン、ホテルにユーザーさんと補助犬と一緒に行動することができる「身体障害者補助犬法」という法律ができました。

この法律が始まって、15年以上たちますが、一般の方にはまだこの法律が周知されていないのが現状です。

補助犬はペットではありません、社会のマナーもきちんと訓練されていますし、衛生面でもきちんと管理されています。

補助犬と一緒に行動していてもユーザーさんへの援助が必要な場合があります。ユーザーさんが困っている様子を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか」と声をかけてください。



このマークが目印です



【ふくみみ】ってなに？ ・みみたぶのおおきいみみ ・しあわせをはこぶみみ ・しあわせがあらわれているみみ・・・をいいます。